

殿山古墳(上尾市)

とのやま

正面は殿山聖地墓苑という霊苑で、その建物の後ろに見える木立の辺りに殿山古墳がある/左手に曲がって進むと榎本牧場がある



牧場の厩舎の向こうに殿山古墳の墳丘が見える



牧場の南側に回ってみる/正面の木立のところが殿山古墳



近づいて見る



階段があってその向こうに社が見える



鎖で施錠され、登れないようになっている



説明板も木々に埋もれながら立っている



野山古墳

野山古墳は、大分県豊後高田市の野山に所在する古墳である。古墳の形状は、墳頂がほぼ正方形の形状を呈している。

古墳の年代は、五世紀前半と推定されるが、古墳の築造の経緯や築造者の氏名については、現在まで明らかでない。古墳の周囲には、古墳の築造に使用された土壌の成分を分析した結果、古墳の築造に使用された土壌は、古墳の周囲の土壌と異なる成分を有していることが確認されている。

古墳の年代は、五世紀前半と推定されるが、古墳の築造の経緯や築造者の氏名については、現在まで明らかでない。古墳の周囲には、古墳の築造に使用された土壌の成分を分析した結果、古墳の築造に使用された土壌は、古墳の周囲の土壌と異なる成分を有していることが確認されている。

この古墳は、その一部が未だ埋れているが、いまなお、直径三十二メートル、高さ二・三メートルの円墳の形状を呈している。

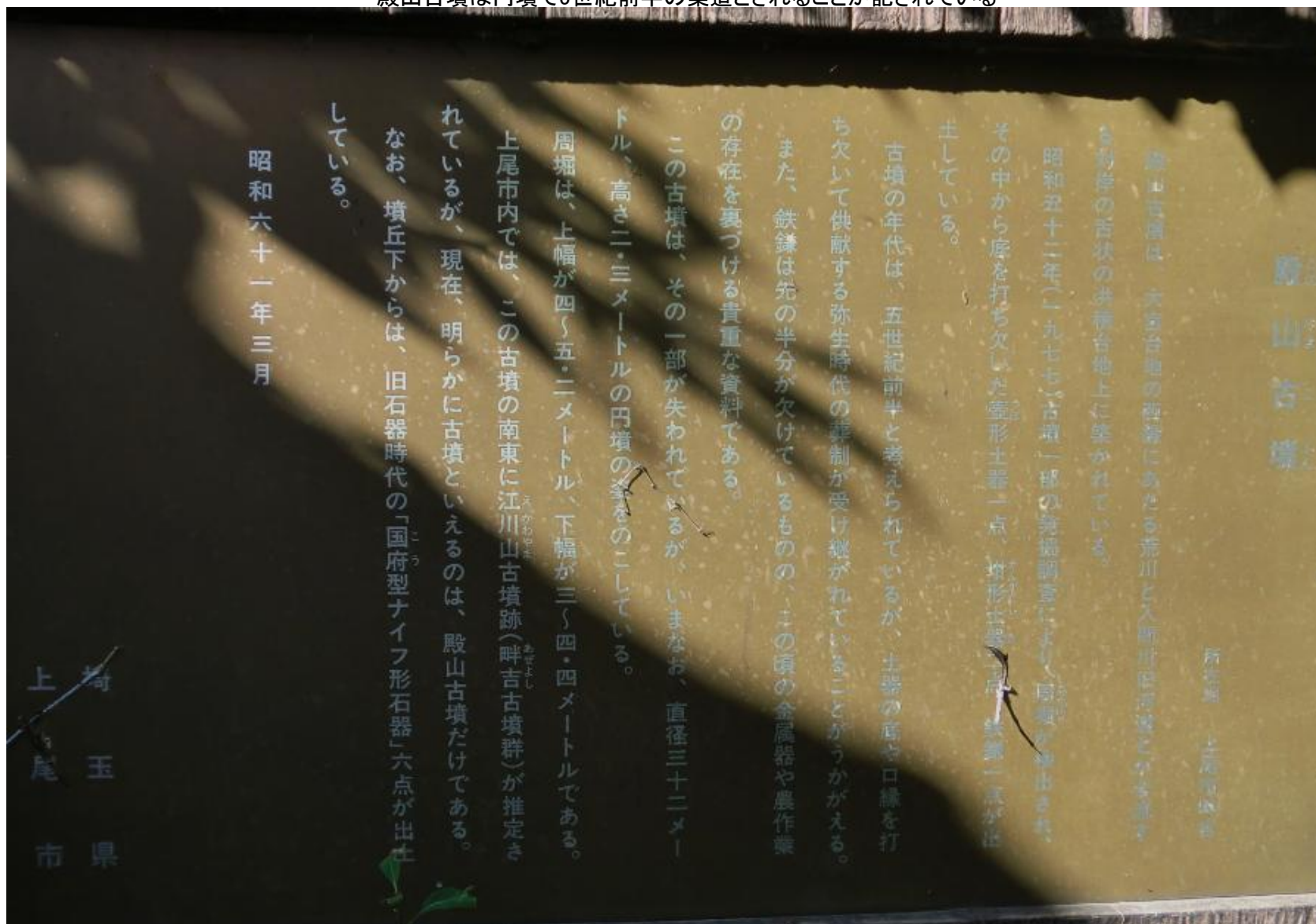
周堤は、上幅が四〇五メートル、下幅が三〇四・四メートルである。上尾市内では、この古墳の南東に江川山古墳跡(時吉古墳跡)が推定されているが、現在、明らかに古墳といえるのは、殿山古墳だけである。

なお、墳丘下からは、旧石器時代の「国府型ナイフ形石器」六点が出土している。

昭和六十一年三月

大分県
上尾市

殿山古墳は円墳で5世紀前半の築造とされることが記されている



北東側に回って霊苑との境の僅かな通路を進んでみよう/左手は何やら工事中のようである





何か建物を建設中のように見える/奥に墳丘が見える



説明板によると直径32m、高さ2.3mの円墳ということであるが、四周とも大分削られてしまっているようだ



墳丘に登ってみる



社が二つ建っている





この先が先ほど南側から見ていたところ



振り返って見る



右手は牧場



左手は霊苑の墓地が廻りこんでいる



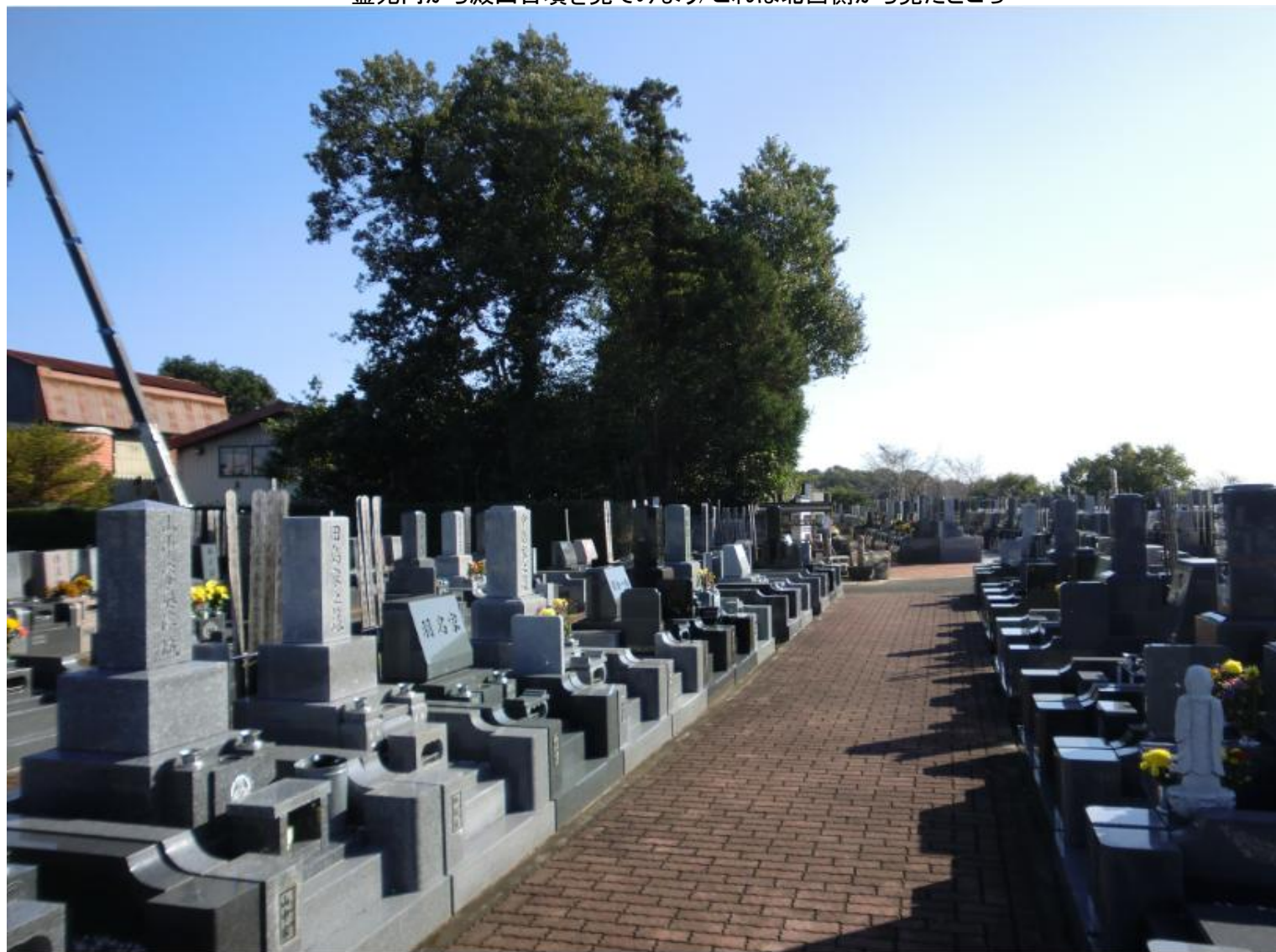
これは殿山古墳の西方向の風景/こういった立地に古墳が造られたわけである



さて、墳丘上の大きな木は台風等による倒壊によって霊苑側に被害をもたらさないために昨今伐採されたようだ



霊苑内から殿山古墳を見よう/これは北西側から見たところ



西側から見る



南西側から見る



参考ホームページ

<http://paralleli.life.coocan.jp/kofunblog2/?p=3569>

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/14_ageo/tonoyama.html

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/ageo_tonoyama/

http://saitamano.blogspot.jp/2013/05/blog-post_4056.html

<http://kofunnomori.web.fc2.com/saitama/ageo/tonoyama.htm>

<http://d.hatena.ne.jp/monksiiru/20070506/1178431625>

<http://blog.goo.ne.jp/daidi/e/dc94f1571e832612d96408ab4bef592d>

